

日语专业系列教材

总主编 ■ 皮细庚

新编日语泛读教程

学生用书 第二册

本册主编◎叶琳 副主编◎林敏洁



语专业系列教材

总主编 ■ 皮细庚

新编日语泛读教程

学生用书 第二册

本册主编◎叶 琳

副主编◎林敏洁

图书在版编目(CIP)数据

新编日语泛读教程. 第2册/叶琳主编. —上海: 华东师范大学出版社, 2013. 10

学生用书

ISBN 978 - 7 - 5675 - 1324 - 2

I. ①新… II. ①叶… III. ①日语—阅读教学—教材
IV. ①H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2013)第 246385 号

新编日语泛读教程 学生用书 第二册

主 编 叶 琳
副 主 编 林敏洁
责任编辑 孔 凡
装帧设计 卢晓红

出版发行 华东师范大学出版社
社 址 上海市中山北路 3663 号 邮编 200062
网 址 www.ecnupress.com.cn
电 话 021-60821666 行政传真 021-62572105
客服电话 021-62865537 门市(邮购)电话 021-62869887
地 址 上海市中山北路 3663 号华东师范大学校内先锋路口
网 店 <http://hdsdcbs.tmall.com>

印 刷 者 苏州工业园区美柯乐制版印务有限公司
开 本 787×1092 16 开
印 张 12
字 数 276 千字
版 次 2013 年 12 月第一版
印 次 2013 年 12 月第一次
书 号 ISBN 978 - 7 - 5675 - 1324 - 2/H · 658
定 价 32.00 元(含盘)

出 版 人 朱杰人

(如发现本版图书有印订质量问题,请寄回本社客服中心调换或电话 021-62865537 联系)

编写说明

“新编日语泛读教程”系列教材为日语专业基础阶段泛读课程教材,含学生用书5册、配套教师用书2册,分别供大学本科一、二、三年级学生及同等水平学习者使用。

本书为学生用书第二册,供日语专业二年级下学期使用。其余各册为:入门篇(一年级下学期用);第一册(二年级上学期用);第三册(三年级上学期用);第四册(三年级下学期用)。

◎ 本系列教材特色

阅读技巧和策略 迄今为止,国内日语专业泛读教材中不乏优秀的、富有教益之作,唯有少见传授相关阅读理论的作品。在本系列教材中,我们大胆尝试设计编排了阅读技巧和策略的相关学习内容。教材提供全面系统的阅读训练,指导学生掌握猜词、细读、略读、寻读等方法,学会快速、准确地获取并处理信息。

主题选文 我们对选文精挑细选。选文富于知识性、趣味性、人文关怀的同时,注重题材视角的多元化和文体的多样性。题材涉及日本的社会、政治、经济、文化、文学、历史、宗教、体育、医药、环保、风土人情、科普知识等各个领域;同时,文体呈多样性,既有文学作品,又有记叙、说明、议论、新闻、广告等语言风格不同的各类文章。其独特设计充分体现了泛读课程自身的特点,更兼顾题材的系统性,旨在开阔学生的视野,增强日语语感,扩大词汇量,及其阅读能力和分析能力。

本系列教材的编写以教育部颁布的《高等学校日语专业日语教学大纲》对各个级别的阅读量、难度和速度的要求为依据,按难易度编排,学生用书每册15个主题单元。每单元围绕同一个主题设计了一篇主课文(テキストA)、一篇副课文(テキストB)和短文阅读训练。

主课文是为课堂教学设计的,副课文供学生在教师指导下巩固训练使用,三篇短文供学生训练阅读速度并对自己的理解能力进行自测。

下面对本系列教材的特点和使用作具体说明:

● テキストA 阅读前

编者对主课文(テキストA)的热身环节进行了重点编写。课文前的练习一中的两个问题旨在激活学生在相关话题上已经取得的知识,鼓励学生在这些话题上先发表初步的看法,待学生读完主课文后把自己的知识和看法与文章中所表达的观点相对比,使学生充分认识到视角的多元性。请学生围绕这两个问题展开讨论,并在学完课文后分析和对比作者的视角与自己的视角之间的异同。练习二中选择的几个词都是学生可能不认识的生词,但它们也是对理解课文内容至关重要的词,该题的目的是通过测试学生在句子中猜测词义的能力,引导学生注意并准确地理解这些词,弄清楚与它们相关的概念。这将对主课文的阅读起到引导作用。

- テキスト A

根据难易度和单元主题设计编排。课文长度从入门篇的 500 字左右逐渐增加到第四册的 1800 字左右。

- テキスト A 阅读后练习

在主课文之后,对文章的语言难点进行了注释,其中有一些是难以在一般的学习词典上查到的词语;练习题检验学生对主课文内容的把握能力,对这些问题的解答就等于掌握了这篇课文的主要内容。

- テキスト B 阅读后练习

副课后包括作者的简单信息以及对课文中语言难点和社会文化知识的注释。练习题或要求学生做简略回答,帮助学生理解文章的主要内容、作者的态度或文章的语气。或把课文主题与社会生活或学生的个人经历联系起来,鼓励学生学以致用,用学到的知识和语言讨论现实问题。

- 阅读技巧和策略训练

第一册到第四册的阅读技巧和策略专栏,根据日语教学大纲归纳出最常用的阅读技能和策略。第一册指导学生判断生词词义,熟悉句子结构,了解中心思想。第二册重点培养学生把握文本中心思想的能力。第三册着重阅读速度和逻辑推导方面的训练。第四册进行综合训练,提高学生对文本的批评鉴赏能力。

除了对阅读技能进行概括性讲解之外,每个专栏都给出例子供学生训练并掌握阅读技巧和方法。我们也在主副课文的练习题中设计了涉及技能和方法的题目,让学生把学到的技能及时运用于阅读实践。

阅读方法属于技能强化训练,即同一种阅读技巧要连续在几个单元内反复操练,以使学生能运用自如。我们在学生用书每 3 个单元设计了一个阅读技巧/策略专栏,单册共有 5 个专栏。

- 自测阅读训练

每课最后的短文供学生自行测试阅读速度和水平。每篇短文之后的问题都按国际日语能力测试以及日语专业四、八级考试中阅读理解部分的题型设计,既能够起到进一步扩大知识面的作用,又能让学生熟悉国际日语能力测试、日语专业四、八级的题型和难度。学生可自己进行计时阅读训练,在规定时间内完成。

◎ 阅读能力要求

本系列教材每部分的阅读理解练习都同时检验学生把握文章的能力,并根据文章的体裁和题材做出了相应的设计。例如,议论文后所提问的问题侧重于检验学生对文章的主旨、作者的意图、重要细节或论据的理解;叙述文后提问的问题则重点检验学生对主要情节和人物、作者的态度、文章的语气的把握能力。但二者也都包括对文章中语言难点和社会文化知识难点的理解。

本教材为日语学习者精心挑选或经典或具有时代感的日语文章百余篇,篇篇读来爱不释手。在此我们谨代表广大日语专业师生及日语学习者对原作者致以深深的谢意及崇高的敬意。

第二册在总主编皮细庚教授的具体指导下,由主编叶琳、副主编林敏洁承担。要特别感谢同济大学金玺罡、东华大学郑礼琼老师,以及同济大学日语系研究生任希和吴涵涵为本教材提供了

部分优秀的选文。

需要指出的是,教师在课堂上也可以灵活使用本教材,例如,在讲授任何一课时,教师可以根据学时的要求和学生的兴趣把テキスト B 作为课堂上主要讲解的对象,而把テキスト A 留给学生自学使用。

本教材希望对学生提高日语基本功、扩大知识面、培养逻辑思维能力、增强分析能力有所帮助。

虽然我们研读了各种教材及相关理论知识,但我们仍感到能力有限,错漏之处在所难免,欢迎各位专家、教师、广大使用者批评、指正。

编者

2013年11月

目次

第1課

テキストA 狸の恩返し / 1

テキストB かぐや姫 / 4

テキストC

(1) ゾウの鼻はなぜ長い / 7

(2) 白雪姫 / 8

(3) こぶとりじいさん / 9

第2課

テキストA ペットの目 / 11

テキストB 文京区千石と猫のピーター / 14

テキストC

(1) 章魚の足 / 17

(2) 動物の目 / 18

(3) 頭のいいチンパンジー / 19

第3課

テキストA 秋と散歩 / 21

テキストB わたしの好きな春の言葉 / 24

テキストC

(1) 秋の歌 / 27

(2) 夏の終わり / 29

(3) 春がたつ / 29

阅读技巧专栏 1

段落结构时间先后顺序 / 32

第 4 課

テキスト A ダイエット / 34

テキスト B 老いの正体 / 36

テキスト C

(1) 偏食 / 39

(2) 方向オンチ / 40

(3) カラオケと騒音不感症 / 42

第 5 課

テキスト A ホンモノの日本語を話していますか? / 44

テキスト B 話し合うために大切な言葉 / 47

テキスト C

(1) 不思議の言葉言葉の不思議 / 50

(2) 言葉は動く / 52

(3) 日本語のあいまいさ / 54

第 6 課

テキスト A 家族の形態 / 56

テキスト B 日本の夫のジレンマ / 59

テキスト C

(1) ディンクス / 61

(2) 孤独な夫族 / 63

(3) 父とわたし / 64

阅读技巧专栏 2

议论文的结构与逻辑性 / 67

第 7 課

テキスト A 日本の若者 / 70

テキスト B 若時代が若者を鍛える / 73

テキスト C

- (1) 若者言葉 / 75
- (2) 『便利』と上手く共存!! / 77
- (3) 若者の就職情況 / 78

第 8 課

テキスト A ラッシュアワーの車中で / 81

テキスト B 車中の光景 / 84

テキスト C

- (1) 交通渋滞 / 87
- (2) 電車で呆れること / 88
- (3) 特急電車に乗って考えること / 89

第 9 課

テキスト A 海老の天ぷら / 91

テキスト B 喫茶店 / 94

テキスト C

- (1) 食べる / 98
- (2) 箸美人 / 99
- (3) 「きつねうどん」と「たぬきそば」 / 101

阅读技巧专栏 3

关于句与句之间的逻辑关系 / 103

第 10 課

テキスト A 丘の上の父 / 104

テキスト B 母の日のプレゼント / 107

テキスト C

- (1) 「娘を嫁がせた父親は……」のお話 / 110
- (2) よつ葉のエッセイ / 112
- (3) 息子の独り言 / 113

第 11 課

テキスト A 旧友との再会 / 116

テキスト B 心の調べ / 120

テキスト C

- (1) 心のやすらぎ / 122
- (2) ホスピスでのある出会い / 123
- (3) 友達付き合いを大切にする / 125

第 12 課

テキスト A 血液型による性格判断 / 127

テキスト B 口の堅い人・軽い人 / 130

テキスト C

- (1) A型の女性とB型の女性 / 134
- (2) 占い好きな人 / 135
- (3) 惚れっぽい人 / 137

阅读技巧专栏 4

理解句与句间的语法关联性 / 139

第 13 課

テキスト A 美しき空席 / 143

テキスト B アイタ・ペアペア / 146

テキスト C

- (1) 中国 新しき恋愛時代を迎える / 149
- (2) プレゼントの「甘さ」 / 151
- (3) 恋人同士の目 / 152

第 14 課

テキスト A あるボランティア活動 / 154

テキスト B 抗議としての登校拒否 / 157

テキスト C

- (1) ひとの支え / 160
- (2) 酒人を飲む / 162
- (3) 分かり合う / 164

第 15 課

テキスト A 視線を避ける文化 / 166

テキスト B アイ・コンタクト / 170

テキスト C

- (1) 身体接触と視線 / 173
- (2) もっと低く、さらに低く / 174
- (3) 視線は人の「心の言葉」 / 176

阅读技巧专栏 5

段落间的逻辑关系 / 178

第1課

考えよう

1. 日本でよく知られる昔話や神話を話してみてください。
2. 中国と日本との昔話の相違点について考えてください。
3. 自分のもっとも好きな昔話は何ですか。

テキスト A 狸の恩返し

むかし、むかし、阿佐ヶ谷もまだ村だったころのことです。周りを田畑に囲まれた小高い山の上に、おじいさんとおばあさんが仲良く暮らしておりました。おじいさんとおばあさんは、自分たちの食べ残しが出ると、「おすそ分けですよ。同じ山の仲間たちよ、おあがりよ」と話しかけながら、勝手口に出して置くのが常となりました。

はじめのうちこそよって来るものではありませんでしたが、だんだんにキツネもタヌキもやってきて、朝夕の残り物を待つようになっていました。おじいさんとおばあさんは、毎日やってくるキツネやタヌキを温かい目で見ていました。

そんなある日、いつも夫婦でやってくるタヌキが、雄ダヌキだけでやって来て、口に銜えられるだけ食べものを銜えると、帰って行きました。

「もしかしたら、お腹が大きかったから、赤ちゃんでも生まれたのかもしれないねえ」とおばあさんは言いながら、気になってタヌキの後をつけて行くと、なんと雌ダヌキは足に傷があ

5

10

り、血だらけになって苦しんでいました。おじいさんと呼んで来て、傷口に脂薬を塗ってもら
うと、怖がっていたタヌキも敷いてもらったわらの上におとなしく寝ていました。

15 次の日から、「おばあさんや、かわいそうだから何か元気の出るもの食べさせておやりよ」と
おじいさんが言ってくれたので、おばあさんは喜んで食べものを運んでやりました。

五日目の朝、おばあさんが行ってみると、タヌキはかわいい赤ちゃんを三匹も生んでいま
した。おばあさんもおじいさんも大喜びして、今までよりたくさんの食べものを運んでやりま
した。

20 一ヶ月もすると、タヌキはすっかり元気になり、赤ちゃんだったタヌキもころころ太ったか
わいい子ダヌキになって、一家はおじいさんやおばあさんの知らない所に巣を作って行って
しまいました。

そのころから、おばあさんの水瓶が、汲んでもいないのにいつも水がいっぱい入っているよ
うになりました。庭の釣瓶井戸からくみ上げて、手おけで運び、水瓶をいっぱいにするのがお
ばあさんの仕事でしたから、「きっと、おじいさんが親切にやってくれたんだなあ」と、おばあ
25 さんは思っていました。ところがある日、おじいさんが、「木小屋が割った薪でいっぱいだけ
ど、おばあさん、いつ薪を作ってくれたの」と聞くものですから、おばあさんは、「わたしは知ら
ないけど……とところでおじいさん、いつも水瓶がいっぱいだけど、いつ汲むの」と聞きますと、
おじいさんも、「わたしは、水なんか汲んでいないよ」と言うではありませんか。

30 おじいさんもおばあさんもびっくりしながら、誰がこんな大変な仕事をしてくれたのだろ
うと考えましたが、全く見当が付きませんでした。二人は考えて考えてから、「きっと、タヌキ
が恩返ししてくれたんだ」と思うようになりました。

それから、次々によい事が起こり、いつまでもいつまでも、幸せに暮らしました。

『昔話芝居一座』 2008年

単語

たぬき(狸)①	[名]	貉子, 貉, 狸猫。
こだかい(小高い)③	[形]	稍高的, 略微高的。
おすそわけ(御裾分け)①	[名・他サ]	分贈, 分送; 分贈给别人的东西。
かってぐち(勝手口)③①	[名]	厨房门口, 后门。
つね(常)①	[名]	往常, 寻常。
きつね(狐)①	[名]	狐狸, 狐。
くわえる(銜える)①	[他下一]	叼, 衔。
だらけ	[接尾]	尽, 满, 到处, 净。
きずぐち(傷口)①	[名]	伤口。
あぶらぐすり(脂薬)④	[名]	膏药, 药膏。
ころころ①	[副]	滚动, 翻滚(的样子)。
す(巢)①	[名]	(动物的)巢、穴、窝。

みずがめ(水瓶)①	[名]	水缸,水瓮,水罐。
くむ(汲む)②①	[他五]	汲水,打水。
つるべ(釣瓶)①	[名]	(汲井水用的)吊桶。
つるべいど(釣瓶井戸)	[名]	水井,打水井,提水井。
くみあげる(汲み上げる)	[他一]	汲起水。
ておけ(手桶)①③	[名]	水桶,提桶。
きごや(木小屋)①①	[名]	木屋。
まき(薪)①	[名]	柴火。
けんとう(見当)③	[名]	估计,推测,判断。
けんとうがつく(見当が付く)	[惯]	大致明白,可以推断。

文法解説

1. 动词连用形+てくる

在本课中除了表示新事物的出现、产生,意为“……来了”、“……出来”以外,还表示在其他场所做了某事之后又回到原来的场所,意为“……就回来”。也可以根据不同语境灵活翻译。

- はじめのうちこそよって来るものではありませんでしたが、だんだんにキツネもタヌキもやってきた。/起初没有一个靠近的,可渐渐地狐狸和貉都过来了。
- 中から、元気な男の子が生まれてきました。/从里面生出来一个健康的男孩子。

2. 名词+だらけ

接尾词“だらけ”直接接续名词后面,表示“满是……”“沾满……”,可以接续具体名词与抽象名词之后,用于消极表达。

- おばあさんは言いながら、気になってタヌキの後をつけて行くと、なんと雌ダヌキは足に傷があり、血だらけになって苦しんでいました。/老奶奶边说着,边不放心地跟在貉的后面,原来雌貉脚上有伤,满是鲜血,很痛苦。
- 不勉強で、間違いだらけの作文を書いてしまった。/由于不好好学习,写了错误百出的作文。

3. 情感形容词、形容动词的词干+がる

“がる”是接尾词,可构成五段他动词,表示客观叙述他人的某种感觉,意为“觉得……”、“感到……”。

- 怖がっていたタヌキも敷いてもらったわらの上におとなしく寝ていました。/感到害怕的貉温顺地睡在了铺好的稻草上面。
- 大学入試に合格して、彼は嬉しがっています。/通过了大学考试,他很高兴。

4. 动词未然形+(さ)せてやる

“(さ)せてやる”是由使役态加授受动词“やる”组成,语气比“(さ)せてあげる”随便和简慢,常用于长辈对晚辈的会话中,表示说话者允许或放任第三者的行为,意为“就让他〈他们〉做……”、“允许他〈他们〉做……”。

- かわいそうだから何か元気の出るもの食べさせておやりよ。/怪可怜的,就给它吃些长力气食物吧。
- 昨日の晩、この子はずいぶん遅くまで起きていたから、もう少し休ませてやろう。/这孩子昨天晚上睡得很晚,就让他再睡一会儿吧。

練習問題

- 3行目に「おあがりよ」の「あがる」と同じ意味の語は次のどれですか。

A. 諸経費は1万円ではあがらない。	B. 魚のフライがあがった。
C. どうぞお酒をおあがりください。	D. 人前に出るとあがってしまう。
- どうしてある日雄狸だけ阿佐ヶ谷夫婦のところへ行きましたか。
- 結局狸は何匹生まれましたか。
- 恩返しに狸夫婦は阿佐ヶ谷夫婦のために何をしてあげましたか。
- おしまいから5行目に「なんか」と同じ使い方のものは次のどれですか。

A. 未熟な私なんかとてもできません。	B. 言葉づかいなんか汚いよ。
C. お前なんか知るかよ。	D. タバコなんか止めろよ。

テキスト B かぐや姫

むかしむかし、竹を取って暮らしているおじいさんがいました。

ある日のこと、おじいさんが竹やぶに行くと、根元が光っている不思議な竹を見つけました。

「ほほう、これはめずらしい。どれ、切ってみようか。えい! ……うん? これは!」

おじいさんがその竹を切ってみると、なんと中には小さな女の子がいたのです。子どものないおじいさんとおばあさんは、とても喜びました。そしてその子を『かぐやひめ』と名付けて、大切に育てたのです。

かぐや姫は大きくなるにしたがって、とても美しくなりました。そして年頃になると、「どうか、かぐや姫をお嫁さんにください」と、若者がたくさんやってきました。

なかでも特に熱心な若者が、五人いました。みんな、立派な若者です。でも、かぐや姫は、お嫁に行くつもりはありません。そこでかぐや姫は、困ってしまい、

「では、私が言う品物を持ってきてくださった^{かた}方のところへ、お嫁に行きましょう」と言って、世にも珍しいと言われる品物を一人一人に頼みました。

五人の若者はそれぞれに大冒険だいぼうけんをしましたが、かぐや姫の望んだ品物を手に入れた者は一人もいませんでした。 15

なんとか五人の若者を追い返したかぐや姫ですが、かぐや姫のうわさはとうとうみかどの耳にも入りました。

「ぜひ、かぐや姫を后になってほしい」

みかどの言葉を聞いたおじいさんとおばあさんは、大喜びです。 20

「すばらしいむこ婿さんじゃ。これ以上の婿さんはない」

お嫁に行くつもりのないかぐや姫は、何とか断ろうと思いましたが、みかどに逆らえば殺されてしまうかもしれません。

それ以来、かぐやひめは毎晩毎晩悲しそうに月を見上げては泣いていました。

ある日、おじいさんとおばあさんが心配してわけを尋ねると、かぐや姫は泣きながら言いました。 25

「実は、わたくしは月の世界のものです。今まで育てていただきましたが、今度の満月の夜には月へ帰らなくてはなりません」

それを知ったみかどは、満月の夜、何千人もの兵士へいしを送ってかぐや姫の家の周りを守らせました。 30

何とかして、かぐや姫を引きとめようとしたのです。

けれど真夜中になって月が高く昇ると、兵士たちは突然眠ってしまいました。

かぐや姫はその間に、月の使いの車に乗って月に帰ってしまいました。

そのことを知ったおじいさんもおばあさんもみかども、とても悲しんだということです。 35

【福娘童話集】 2010年

単語

たけやぶ(竹藪・竹藪)①	[名]	竹丛林, 竹林。
ねもと(根元)③	[名]	根部。
としごろ(年頃)⑩	[名]	妙齡, 正……年齢。
おいかえず(追い返す)③	[他五]	驱赶回去, 逐回, 击退。
みかど(帝)①	[名]	天子, 皇帝。
きさき(后)①②	[名]	皇后, 王后, 王妃。
ことわる(断る)③	[他五]	拒绝。
さからう(逆らう)③	[自五]	违背; 反抗, 违抗。
まんげつ(満月)①	[名]	满月。